

法制度・許可ワーキンググループ（仮称）における 今後の議論のポイント（たたき台）

請負制度

- CMなど、請負以外の契約形態への広がりや踏まえ、これらを建設業法体系にどのように位置付けていくか
- 大手や中小の建設会社、公共・大手民間・個人の発注者など、多様な受発注者が存在するなか、受発注者間（特に民間）の契約に対する法制度上の規律をどのように高めていくか。
- 建設工事の専門化、高度化の進展により、一定の重層下請構造が存在するなか、品質確保等に関する元請責任のあり方をどのように考えるべきか
- 適正かつ円滑な施工を実現するため、設計と施工のあり方（設計の密度、設計への施工者の関わり）やそれに応じた請負契約のあり方をどのように考えるべきか

許可制度

【許可制度の基本的な性格】

- 現在の建設業法では、大手・中小、兼業・専業などにかかわらず一律の許可要件が課されているが、見直すべき点はないか（見直しに当たっての切り口として何が考えられるか）

【生産性向上】

- 営業所に専任で配置する技術者要件について、ICTの進展等も踏まえ、見直す点はないか
- 生産性向上の観点から、許可申請時に必要となる書類について、簡素化すべき点はないか

【働き方】

- 社会保険加入など処遇改善の観点から、現行の許可要件について、見直す点はないか

【地域の建設業】

- 地域の守り手として、地方建設企業が安定的に活躍し続ける上で、許可の面で見直すべき点はないか
- 建設企業が事業承継を行うための環境をどのように整備するか

【その他】

- 許可制度を見直す中で、経營業務管理責任者要件はどうあるべきか
- 建設関連業（CM等）について、制度上どのように位置付けるべきか

企業評価ワーキンググループ（仮称）における 今後の議論のポイント（たたき台）

【基本的な性格】

- 公共工事のランク分けの基礎資料という本来の制度趣旨がある一方で、総合評価落札方式の拡大や民間企業等における経審の活用等の実態も踏まえ、今後、経審の性格をどのように考えるか

【生産性向上】

- 生産性向上に取り組む企業を評価する観点から、現行の経審の加点項目について見直すべき点はないか
- 生産性向上の観点から、経審申請時に必要となる書類について、簡素化すべき点はないか

【働き方】

- 働き方改革に取り組む企業を評価する観点から、現行の経審の加点・減点項目について見直すべき点はないか

【地域の建設業】

- 大企業と中小企業、専門企業と兼業企業をそれぞれ適切に評価するには、どのような制度のあり方が考えられるか
- 地域における建設企業の役割維持のため、現行の経審における地域貢献の評価について見直すべき点はないか

【その他】

- 経審も含め、公共・民間の発注者等にとって有益な企業評価情報を提供するには、どのような制度のあり方が考えられるか

地域建設業ワーキンググループ（仮称）における 今後の議論のポイント（たたき台）

- 地域の建設企業が、将来にわたって求められている役割とは何か
（例えば、地域インフラの整備、維持更新・保守点検、災害対応、PPP、CM、地方創生等）
- 地域の建設会社の業態や地理的分布について、どのような姿が考えられるか
（例えば、工事請負中心、維持管理系へのシフト、新規事業への進出等）
- 地域の建設会社が安定した受注を確保できるための方策として、どのようなものが考えられるか
（例えば、複数企業・複数事業・複数年度による契約等を行いやすくするために、どのような方策があり得るか）
- その際、競争性や透明性との関係をどのように整理するか
- 地域の建設会社が地域の包括的な維持管理を行うために、どのような方策が考えられるか
（例えば、CM方式による発注者への支援等）
- 建設企業が事業承継を行うための環境をどのように整備するか
- 地域における建設企業の役割維持のため、現行の経審における地域貢献の評価について見直すべき点はないか